

一般国道463号バイパス本太工区のオープンハウス等意見とりまとめ

1. 実施概要について

○国道463号バイパス本太工区の4車線化計画に関して、事業内容・課題・整備効果を情報提供し、地域の道路への期待・懸念について意見把握を行った。

●開催状況

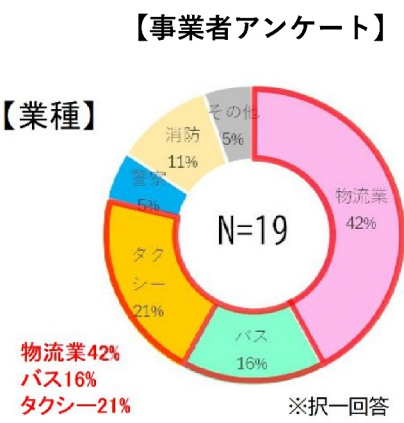
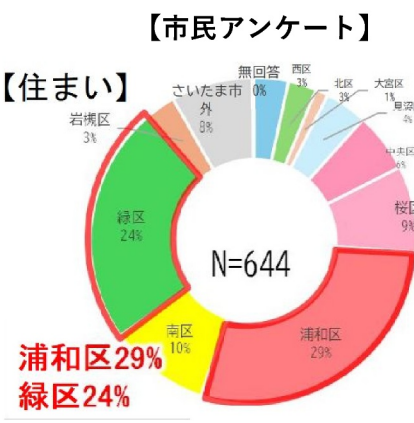
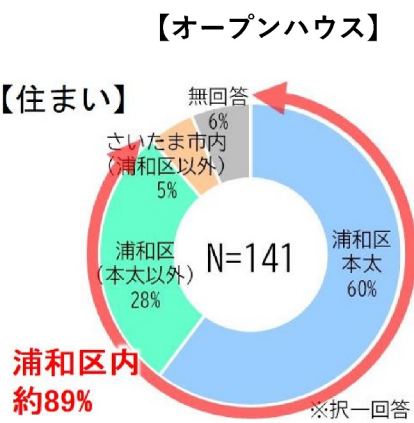
説明会、アンケート等	参加者	実施箇所・実施期間等
オープンハウス	・地域住民、施設来訪者 ・延べ141名	・令和7年11月7日（金）～12月6日（土） ・4会場7回（公民館、小・中学校体育館）
市民アンケート	・X、LINE、みんなのアプリで周知 ・延べ644名	・令和7年11月25日（火）～12月26日（金）
事業者アンケート	・物流業、バス、タクシー事業者、警察、消防 ・延べ19団体	

●参加者・意見の構成（択一回答）

・オープンハウス、市民アンケート、事業者アンケートの実施により、785人、19団体の方にご意見をいただいた。

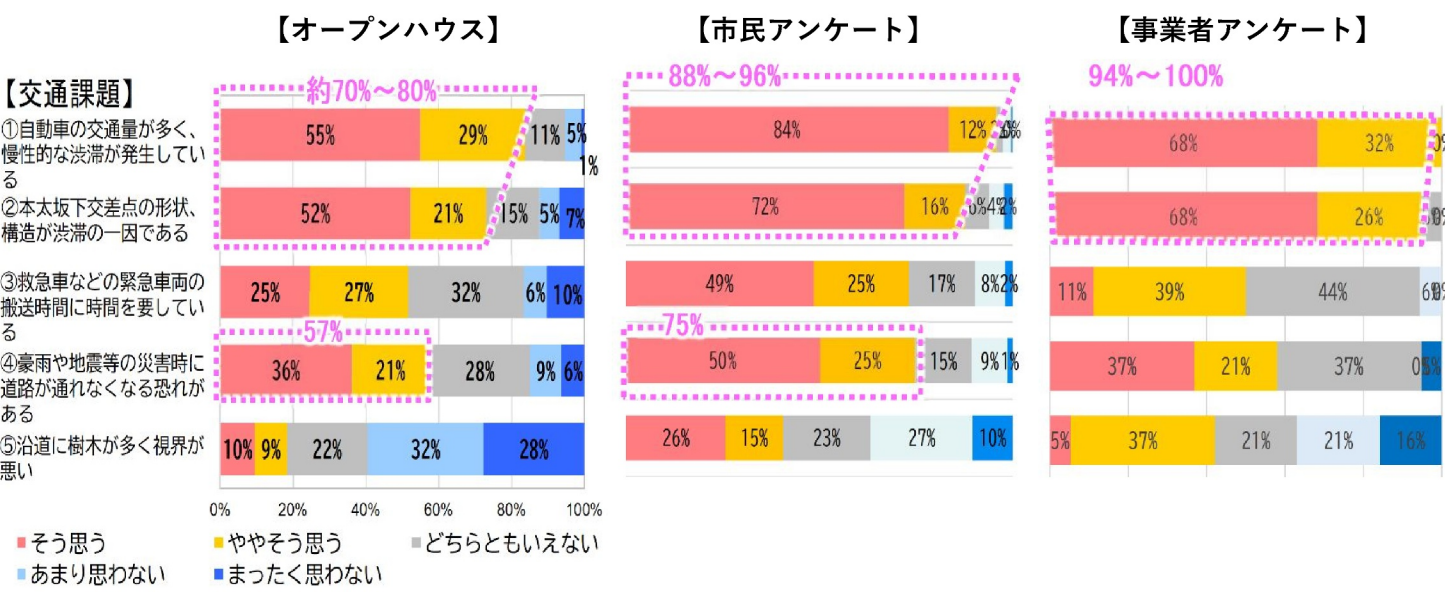
・参加者の構成はオープンハウスでは浦和区内約89%（本太約60%）、50代以上の方が約80%
市民アンケートでは、浦和区内約29%緑区内約24%、年齢については30代、40代、50代、60代以上の方がそれぞれの年代で20%から30%となり幅広い年齢層の方から意見をいただいた。

・事業者アンケートでは業種について物流業で42%、バスタクシーでそれぞれ16%、21%であった。



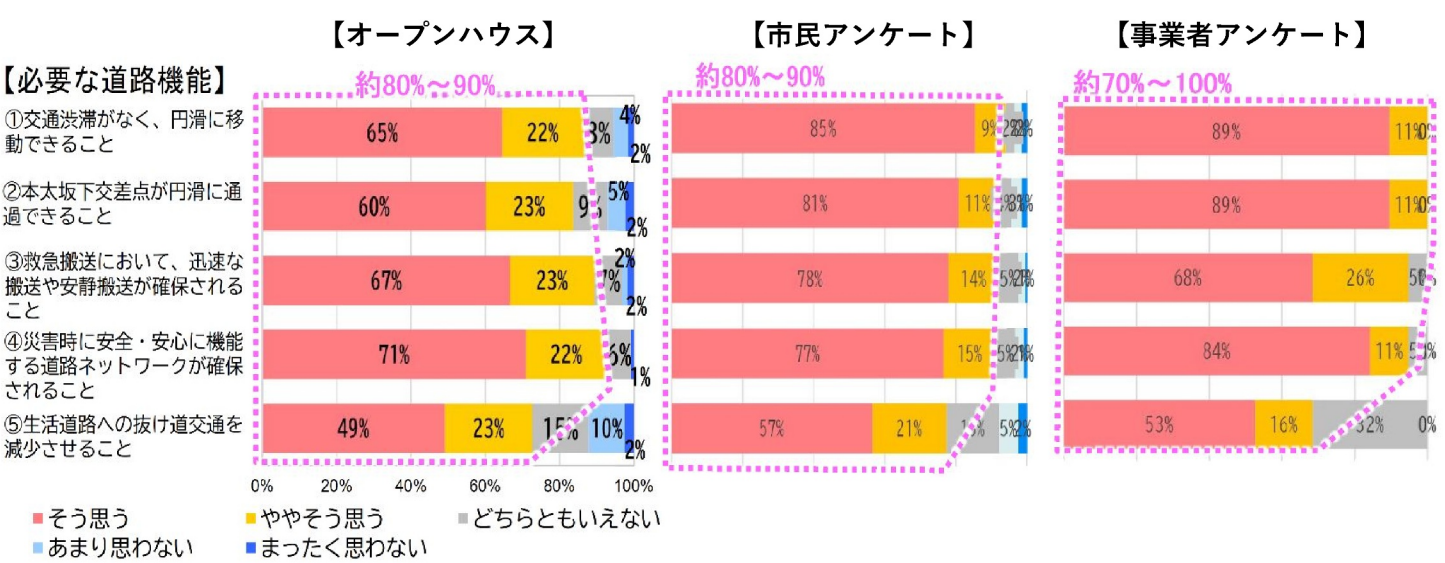
2. 交通課題について（択一回答）

○全体の80%以上の方が「自動車の慢性的な渋滞」を課題とし、その一因が本太坂下交差点の形状、構造にあるとの結果となった。また、豪雨や地震などの災害時の通行についても交通課題との結果となった。



3. 必要な道路機能について（択一回答）

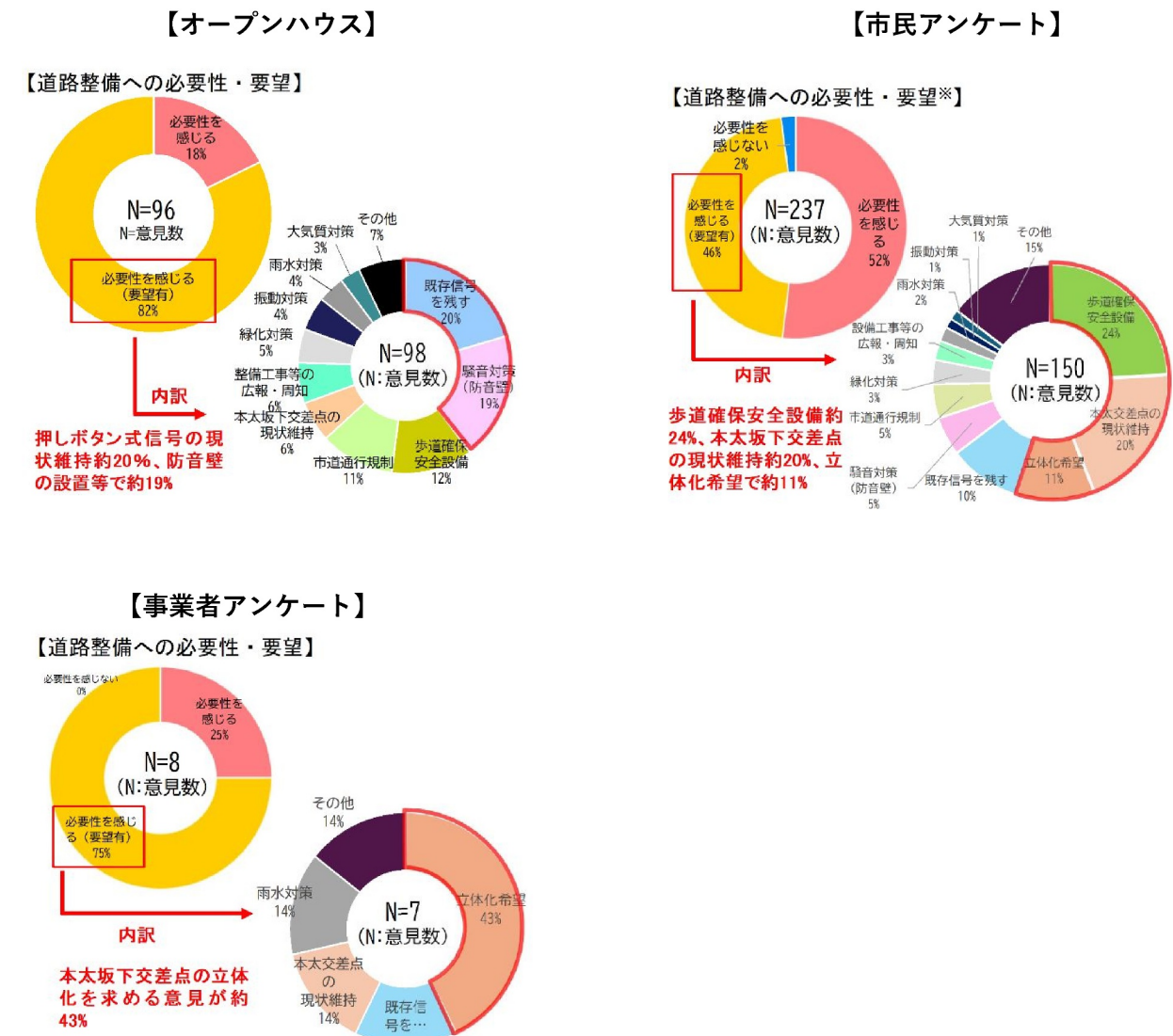
○全体の80%近くの方が全ての項目について必要性を感じる結果となった。



4. 道路整備への必要性・要望（自由回答）

○全体の90%以上の方が本太工区の4車線化の必要性を感じる結果となった。

○4車線整備に伴う要望としては、「既存の押しボタン信号機の存置」、「騒音対策（防音壁）」、「歩道確保、安全設備」、「本太坂下交差点の現状維持」、「本太坂下交差点の立体化」などがあげられた。



5. 主な意見の対応について

●押しボタン式信号について

・押しボタン式信号交差点の利用者が多くいるため、残してほしい。

⇒地域の皆様より、押しボタン式信号機を残してほしいと要望がありましたので、今後、交通管理者と協議していきます。

●防音壁の設置について

・4車線化後は、交通量や騒音が増加するため、防音壁を設置してほしい。

⇒防護壁につきましては、4車線化に伴う将来交通量で騒音予測を行った結果、昼間、夜間ともに基準値を下回っているため、防護壁は設置しない計画としております。しかしながら、4車線供用後にモニタリングを実施し、騒音基準値の超過が確認された場合は、騒音対策を検討してまいります。

●事業に対する広報・周知について

・周知がいき渡っていないため、市報等を用いて周知してほしい。
・整備中及び4車線化後のイメージパネルを見せてほしい。

⇒今後の周知方法や説明会などの参考とさせていただきます。

●歩道確保、安全設備について

・自転車、歩行者が安全に通行できるようにしてほしい。
・工事中に通行者等が安全に通行できるようにしてほしい。

⇒詳細設計の中で自転車歩行者道の安全性について検討してまいります。
⇒詳細設計の中で工事施工展開について検討してまいります。

●本太坂下交差点の現状維持について(本太交差点の分離について)

・本太坂下交差点を分離することで、浦和駅方面へのアクセスが悪くなる、生活道路への車両流入が増える危険があるのではないかと。

⇒本太坂下交差点の分離については、以下の順序を想定しております。
ステップ① 産業道路原山2工区4車線化整備、原山交差点改良
ステップ② 一般国道463号バイパス本太工区4車線化整備
ステップ③ 本太坂下交差点分離
⇒本太坂下交差点の分離は、産業道路の4車線化後を予定しており浦和駅方面へのアクセスは、駒場運動公園交差点から産業道路、日の出通りの4車線道路を経由し浦和駅方面へ向かうことを想定しております。また、産業道路の原山交差点から国道463号を経由し、浦和駅方面へ向かうことも想定しております。
⇒現在は、国道463号及び国道463号バイパス、産業道路が慢性的に渋滞しているため、一部の生活道路が抜け道となっております。本太工区の4車線化及び本太坂下交差点の分離後には、国道463号及び国道463号バイパスを含む産業道路、日の出通りが円滑化され、生活道路への車両流入は、緩和されると想定しております。

●細街路の通行規制、安全対策について

・本線整備合わせて、細街路の規制、安全対策等もしてほしい

⇒細街路のご要望については、詳細設計の中で検討し、関係部署及び関係機関と協議してまいります。

●緑化について

・4車線化後も植栽を残してほしい。

⇒植栽につきましては、詳細設計の中で設置可能な箇所について、検討してまいります。